



治療中の仕事について

患者さんが感じる不便さには

「通院と治療の時間の予測が立てづらく、仕事の調整が難しい」

「職場に迷惑をかけたくないので辞めた方がいいのか迷う」

「職場に病気や治療のことをどう説明していいのかわからない」

などがあります。

がんになっても、あわてて仕事を辞めないようにしましょう。

がん情報サービス「**診断されたらはじめに見る がんと仕事のQ&A (第3版)**」をまず読んでみてください。

https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/pdf/cancer-work.pdf



□ できること

- ・ **ご自身の会社のルールや利用可能な支援制度を確認**
会社の支援や健康保険の制度については人事課や総務課などに聞いてみるとよいでしょう。また利用可能な支援制度・機関について、厚生労働省Hp「治療と仕事の両立支援ナビ 支援を受ける方へ」を参考にしてください。

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/forsubject/>



- ・ **主治医や看護師、相談支援センターの相談員などに相談してみましよう。**

ご自身の会社の上司や同僚への伝え方、今後の治療計画や副作用にそった働き方、休業の必要性などについて一緒に考えたり助言をしてくれるでしょう。

- ・ **体調が悪い日は無理をしない**

副作用等により調子が悪いと予測される日には外勤や重要な会議を避け、デスクワークやテレワークに調整するなど工夫を試みましょう。副作用を和らげる薬の使い方や体調管理についても主治医や看護師、薬剤師に遠慮なく相談してみましよう。